

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第8回 栃木中央地域会議
開催日時	令和2年1月16日(木) 18時30分開会～20時14分閉会
開催場所	市役所本庁舎 3階 正庁
出席者及び欠席者氏名	別記1のとおり
事務局職員職氏名	別記1のとおり
その他出席者等	別記1のとおり
会議事項	別記2のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	なし
会議の経過(議事の要旨)	別記3のとおり

別記1 出席者及び事務局

○出席者（委員）

委員 大栗 利夫	委員 大塚 昌峰
委員 岡田 真由美	委員 片柳 よし子
委員 木村 隆夫	委員 坂本 智哉
委員 佐山 正樹	委員 杉戸 洋
委員 関口 利枝	委員 高橋 正行
委員 玉田 浩	委員 野口 邦子
委員 林 美佐子	委員 藤沼 トヨ
委員 松本 真由美	委員 村田 弘子

○欠席者（委員）

委員 石河 不砂	委員 古澤 利夫
----------	----------

○事務局

【総合政策部】

横倉 延男（地域づくり推進課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長）
熊谷 充晴（地域づくり推進課副主幹）
関口 智（地域づくり推進課主査）
臼井 崇倫（地域づくり推進課主事）

○その他出席者

なし

別記2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

4 議 事

(1) 地域予算提案事業（防災関係）の検討について

(2) まちづくり実働組織について

(3) その他

5 連絡事項

(1) 次回の開催予定について

- ・ 次回開催予定 令和2年3月19日（木） 18時30分～
栃木市役所本庁舎 3階 正庁

6 閉 会

別記3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
佐山会長	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ これから色々な行事があり、お忙しくなるかと思えます。皆様のご意見を集約し、まとめよりよい中央地域のために地域会議を進められたらと思えます。よろしくお願ひします。</p> <p>3 報告事項 特になし</p>

	<p>4 議事</p> <p>(1) <u>地域予算提案事業（防災関係）の検討について</u></p>
佐山会長	事務局より説明をお願いします。
事務局	【地域予算提案事業（防災関係）の検討について事務局が説明】
委員	・観光についての事業はホームページをご覧いただきたいというご発言がありましたが、どのくらいの方が閲覧するのか疑問に思います。どこまで活かしているのかお聞かせください。
事務局	・主に観光客向けの事業をデータベースに対応するというでホームページに記載しています。できるだけ事業を重複させないということで観光課向けの事業はホームページのほうで集約していきたいと考えております。
佐山会長	・我々としましては縦割り行政の中でもう少し融通があってもいいんじゃないかと思うこともありますが、重複するような予算付けが難しいということで×が付いているのかと思います。前回災害に関するフリートークがありましたが、防災関係の地域予算に関して話を進めさせていただきます。
佐山会長	・今回の会議につきましては地域予算の提案に関することであり、市への要望ではありません。市としてできることできないことがあるかと思いますが、地域予算の中で災害・防災に関連したご意見をいただきたいと思います。
事務局	・令和2年度の予算はすでに計上されており、いまから議論される予算について栃木中央地域で執行できる金額は、約700万前後とお考えください。
委員	・昨年度3月に栃木市防災ハザードマップが各自治会宛に配布されたかと思いますが、今回のような災害についての記載がなく、役に立っていません。中央会議として令和3年に発行される際に今回の経験、反省点も含めたハザードマップを作成していただきたいです。
佐山会長	・実際に使える防災ハザードマップを地域予算でつukれないかということですね。
委員	・要望をこの会議で出すことはできないのですか。
佐山会長	・予算付けをする会議ですので有名な講師を呼んだり、地域の記憶を蓄積したりして資料を作成するといった内容の予算付けをしていただければと思います。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでいただいた話を情報提供という形で危機管理課に伝えることはできませんが、この場でお答えすることはできません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に関してこれだけの予算があるということを市民に掲示し、安心感を与えていただきたいです。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・国や市レベルの予算の付け方と言いますと我々の庶民感情とニュアンスが異なります。市民サイドとして声を上げないと予算の付け方にしても、今回の災害について実際にどこからどうなったという時系列や全体像が見えません。行政が前回の水害に関してどこまで把握しているかはわかりませんが、ハザードマップを見た際にストーリーがわかれば対策の仕様があります。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・災害にあった人とあわなかった人とでは温度差があります。今後、水害だけでなく大震災、大停電を予想せざるを得ません。そうなった場合に混乱を極めないために、今回の貴重なつらい体験を蓄積させる作業が地域会議であってもよいのではと思いますが、ただ、予算を付ける会議として馴染むかどうかというのは別です。防災に関しての小冊子を作るとか、ハザードマップを充実させる等、前回の予算付けを含めて予算の有効な使い方を提案していただきたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・要望の件で質問がありましたが、地域会議というのは合併特例法の終了後できた制度になります。今でいう総合支所に地域協議会があり、そこで出た要望を市に伝えることができました。それが平成 27 年度より地域自治制度へ切り替わった際に要望ではなく地域予算という形をとって地域に反映するというように替わっております。要望をお伝えできないのはそういった経緯がありまして、フリーの要望は地域会議からは出せません。ただ、地域会議から何も意見できないというわけではなく、意見聴取というのがあります。市が施策を決め、それに対して意見を伺うことはできますが、地域会議発信でこうしてくださいと要望できる制度では無いことをご承知おきください。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオからの情報が無く、役に立っていませんでした。今回の反省点を踏まえて、各町内で使えるハザードマップを創ろうと思っています。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のような非常事態の際に情報をどう感知するかは極めて重要であり、情報が出なかった理由としては情報によって更に混乱を招くことを考慮しておそらく伝達しなかったのではないかと思います。市の方で情報の部分に関する反省会や検討会などはあったのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部を立ち上げており、災害が起きた頃は毎日報告がありました。避難者が減ってからは 1 週間に 1 回程度開いていました。これにつきましては部長

	<p>以上の市役所職員と危機管理課を中心に、環境課と住宅課の職員も入り会議を開いておりました。復旧を優先的に住宅や被災した方への補助等を話し合いながら、これからの対策としてハザードマップの見直し、川の流れや水の動きの調査、報告等を精査しております。ただ、危機管理課が中心におこなっておりますので、我々としまでも詳細な情報を把握しておらず、時間がかかると思います。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した体験を活かしていく方法を考えていくべきだと思います。情報伝達の部分が不十分だったということもあり、自治会や近所の人同士で自分達の命を救う取り組みの中に、私たち中央会議委員で出来ることを検討出来ればと思います。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この中央会議で提案するよりは、自分たちで予算をもって実働グループを考えればできることが増えると思います。情報伝達の仕方も含めてどこまで流せるか検討できればと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域でのコミュニティがしっかりしてしていました。市内ですと他県からボランティアを待っている状態で地域力の低下を感じました。他の県や市の成功例を知ってる方にアイデアを伺って地域力を高める勉強会を開いたり、どなたが読んでもわかる冊子ができればと思います。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木市も昔からのコミュニティも僅かに残っています。しかし新しい住民との温度差もあり、薄くなっていくと思います。やはり地域力は重要ですが、この会議としての予算の付け方として冊子での伝達や防災ハンドブックを配布して講師のお話を伺うのも可能性はあると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後同じような天災が発生した際に、今回災害がおきた場所は次も間違いなく被害にあいます。そういった場合に防災グッズの常備や、安全な場所に避難できる細かいサポートが必要です。命だけは守れる状況をつくれるような予算付けしていただければと思います。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木市は住みやすい町として売り出しているところに、水害にあいやすいイメージだけは払拭したいと思います。限られた予算ではありますが、防災に対応できる町だというイメージ作りに予算を付けることも可能かと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・河川が決壊する前にどう避難するかが非常に重要だと思いますが、多くの方がネットで河川の水位を確認できるようにカメラを設置すべきだと思います。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を撮ってネットに挙げる流れができたことは素晴らしいと思いますが、誤った情報が流れる可能性もあり、カメラを設置となるとお金がかかりますので難

	しい問題です。
委員	・被害状況を話し合った際に、ハザードマップの見方がわからないという声が多 数あり、危機管理課を呼んで研修しようという意見が出ました。その他にも平屋 が解体されるにつれて空き地が増えます。空き地があると河川の流れが必要以上 に強く流れてきますので、防波堤のようなものを置くべきだと思います。
佐山会長	・地域予算を付ける提案ということで聞き取り調査に予算付けするとか、講習会 を開催したり、ハザードマップをつくるといった形の提案をしていただきたいの でお願いします。
委員	・現場の状況を把握するために講師を呼んだり、非常事態における講習会に予算 を付けたりすると良いと思います。
佐山会長	・危機管理課が地元の人と現場を視察して、被害状況を把握する作業はどうでし ょうか。ただ、地域予算制度としてどう予算付けするかが難しいところです。
委員	・災害の影響を受けない場所もハザードマップに追加してほしいのと、先ほど話 にあった町内で車の置き場所について話し合いの場をつくるために予算を付け ても良いと思います。
佐山会長	・行政の立場になると色々な配慮が働くため難しいことが多いように感じます。 若い世代の父母会などで防災関係の現実的な話をする手法はありますか。という のも高齢化社会になるにつれて、小中学生の子を持つ親たちが、地域のために動 けるような空間があると素敵ですよ。
委員	・いちばん保護者を集めやすいのはPTA 総会です。他にも学校でよびかけて家庭 教育という形で保護者の方々に来ていただくのは可能だと思いますが、果たして どのくらい集まるかわかりませんし、関心を持てるテーマでないと限られた方し か集まりません。被災された保護者がいる中で、洪水や自助と共助に特化して集 まってくださると思います。
委員	・高齢者が安全に避難できるようバスを提供するとか、避難所にある食料品の確 保や収容人数を確認していただきたいです。
佐山会長	・避難する状態をつくらないことも重要で、空き地に水路をつくるとか少し工夫 をすれば予算を付けることも可能だと思います。情報と避難場所の問題は何かで きるがありますよね。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・より現実的に予算を付けるのは可能かどうかというのをこの場で提案するのは大変な作業ですが、期日までにもう一度議論するのは可能ですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・二か年ということでスケジュール通り今年の8月までに提出書を提出致します。金額の見積もりをとったり、業者に確認をとったりと皆さんが予想する以上に時間を要します。ましてや通常のような担当課との交渉では終わりません。予算を提案するにあたって、手引きの地域予算提案制度についても一度熟読していただき、こういったものが地域予算提案事業になるのかご理解いただきたいと思います。本日いただいた意見に関しましても情報の部分での意見が多かったと思いますが、情報が届かなかったという声しか聞けませんでした。これをどう予算化するかが重要であり、その部分を論じる訳ではありません。情報が届かないならどうしたら届くのかを提案するのが予算提案になります。予算というのは令和2年の8月に、令和3年度にこういった事業をやりますというのをあげます。災害が来起きたらこうしようという予算を立てた場合に、起きなかった時にその予算はどうなるでしょうか。予測不能で起きる不確かな事柄に対し、その時にきたらこうしようという提案に予算はつけられません。漠然とこういう目的の為にこうしたいという部分をいただきたいと思っております。ですので次回、もう一度議論する時間はあるとお答えさせていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーをつくり、防災の勉強会に予算付けていただきたいです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに防火水槽や消火栓があるかスタンプラリー方式でまわる防災訓練がありました。ただ講演会をするだけでは呼び込めないと思いますし、子どもたちも集まりやすいので、予算をつけてもいいんじゃないでしょうか。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に強い栃木市をつくるという建前で行けば可能性はあるかと思います。地域予算制度の中でどんなところに災害に関する予算が付くか、私自身も想像できません。ハザードマップや小冊子などイメージはできますが、行政が主体となって講習会ができるかは判りません。あくまでも行政の予算付けであり、予算付けの会議として馴染むかどうかお考えください。事務局から実働組織について説明をお願いします。 <p>(2) <u>地域予算提案事業（防災関係）の検討について</u></p>
事務局	<p>【まちづくり実働組織について説明】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・団体と相談しなければできませんよね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・参加が難しいとお返事いただいている団体もありますが、それ以外の団体同士

	<p>で賛同いただける方がいればという状況です。基本的に実働組織は団体ありきで、いくつかの団体が集まって実働組織が形成されることが基本ルールとしてありますので、個人のみではできないことをご理解ください。</p>
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・何かテーマがあってそれに集まるということならば集まりやすいと思います。今回のような防災に関しての実働組織をつくる話になれば、多くの団体が協力すると思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・説明しました通り、骨組み作ったのは災害前ということをお願いしていただきたいと思います。最初に自治会を中心に検討した際、なかなか難しいことがわかり、その中で活動している各団体を束ねてみようとして試行錯誤してきました。栃木中央地域の実働組織の核は災害ということであれば、決を採っていただいて、核を災害ということにしたいと思います。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・核は災害となった場合に成長していく過程でほかのテーマに替わってもいいわけですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・問題ありません。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは実働組織の核を防災で進めてみようということで、ご判断いただける方は挙手してください。 <p>➡賛成、過半数</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを守るために、防犯も必要になってくると思うので、両方兼ねていただきたいです。そうすればお互いに協力しあえる関係性を築けるとと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策を目的として進めさせていただきます。意向を取り組んだ通知を改めてお送りしますので、スタートはあくまでも防災、防犯を軸にする団体という構成でいきたいと思います。通知を参照の上、各団体もしくは個人として意見を徴すればと思います。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに所属されている委員以外の方たちに声を掛けることは可能ですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地域の会議委員に属する方の団体からという部分だけは前回承認いただきましたので、まずはその形で進めさせてください。先ほど申し上げたようにその形で成立しなかった場合、それで実働組織がとまってしまうわけではないので、その時は団体へ広げていき、決まったことをひとつずつ消化していきたいと思っています。第一段階としては、団体選出の方でなくとも当然所属する団体があ

	<p>るかと思しますので、皆さんが所属する団体、関わりのある団体というふうに解釈いただければと思います。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実働組織の予算はいくらですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実働組織につきまして活動補助金は年間5万円、持ち出しは0です。事業補助金は中央地域ひとつで創ろうと思っておりますので100万ですが、持ち出しの自己財源100万が必要となりますので、事業費の1/2負担となります。50万の事業をやるとしたら25万の負担となります。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の地域予算と違い縛りが自由なため、お互い協力し合える関係が築ければ民間団体で多くのことが可能になりますよね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは情報共有の為、災害体験実録に情報を集約し、まとめることが必要だと思います。
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の方針や予算付けに関して優先順位が明確になりますよね。災害にあわれなかった方の冷静なご意見も重要になります。
佐山会長	<p><u>(2) その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か質問はございますか。 質疑応答なしということで議会を終了します。 <p>5 連絡事項</p> <p>次回の開催予定について 令和2年3月19日(木) 18:30分～ 市役所本庁舎 3階 正庁</p> <p>6 閉会</p>